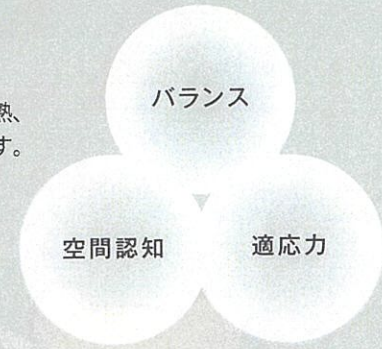


なぜ、ボール遊び運動が必要？

「投げる、捕る、打つ」は人間が習熟すべき基礎運動能力です。手足を連動した複雑で巧みな運動を行うことが、人間らしい脳と身体、体力の発達と成熟、さらにはコミュニケーション能力など社会性の発達に大きく関係していると考えられます。

適時期にボールと親しむ経験がないと、手でボールを扱う種目が多い体育やスポーツを上手に行う能力が未熟のまま運動や遊びに楽しさを感じられず、「運動嫌い」や「体力低下」につながります。



ボール遊びを楽しむことで、脳とからだは成長します

にぎる

握り方を覚え、握力が強くなる

自分の意志でボールを握ることで、物の握り方の学習と握力の強化に。振ったり揺すったりすることで、腕の動きと物との関係性を覚えることができます。



さわる

触覚への刺激は、様々な発達を促す

ボールにさわるときに、手指の触覚が刺激されます。触覚は想像以上に繊細で多くの情報を収集できるため、のちの言語、認知機能の発達を促します。



ころがす

次の動きを予測し、行動できるように

ボールの動きを目で追うだけでも視覚を鍛え、距離感や位置関係を知る学習に。また、転がるボールをつかむことで、動きを予測し体を動かす力が養えます。



なげる&とる

複雑で連続的な、手足の動きを養う

ボールを投げて、キャッチすることで、複雑かつ連続的な手足の動かし方の学習に。日常生活に必要な運動能力はもちろん、脳や神経系の発達も促します。



「あそボール教室」お申し込み書

※希望日に○を記入して下さい ▶

10

17

24

31

ふりがな		ふりがな	
参加児童名	(男・女)	保護者氏名	
生年月日	H 年 月 日 (歳)	TEL	
住所	〒 -		
	<input type="checkbox"/> おおぞら保育園 <input type="checkbox"/> つばさ保育園 <input type="checkbox"/> 南部保育園 <input type="checkbox"/> その他()		

申込方法

直接、おおしまスポーツクラブ事務局（ヨシダ大島体育館内）に持参されるか
電話・FAX・メールにてお申込み下さい。